

二番町地区のまちづくりについて

○第2回番町次世代シンポジウム

■実施概要

開催日時・場所：2025年9月20日(土) 午後3時～午後7時 麻町小学校 3階体育館

出席者：55名（参加：22名、傍聴：33名）※参加…発言を希望する方
傍聴…発言を希望されない方と区別して募集

ファシリテーター：2名 コメンテーター(専門家)：1名

事業者：日本テレビ放送網



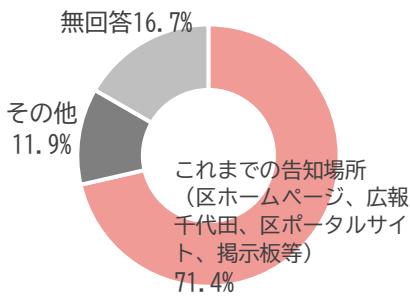
■プログラム

- ・本シンポジウムの開催趣旨
- ・二番町地区地区計画の概要説明
- ・日本テレビ挨拶
- ・心配事の解消

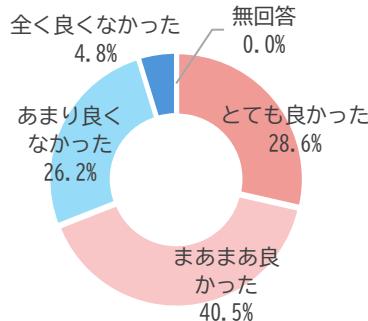
事前募集・当日追加発言があった心配事を分類し、コメンテーター・事業者・区から回答

■アンケート 出席者55名のうち42名回収(回収率：約76%) ※無記名

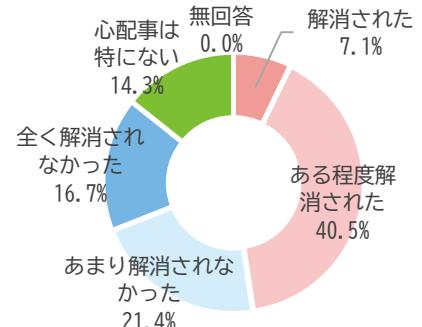
シンポジウム等の募集情報はどこで告知されると便利か



本シンポジウムの満足度



今回のシンポジウムは心配事の解消につながったか



主な意見：

- ・日テレ・千代田区・住民と専門家の交通整理のもとで話し合うことができた。
- ・住民の懸念や生活実感に対し、用意された回答はどれも日テレ案を擁護している感じで違和感があった。
- ・オープンな意見交換になっていると感じました。
- ・一方的説明が多く、住民側意見の時間が少ない。
- ・地区計画を簡潔にまとめて説明があり、都計審の先生からも地域貢献に応じた地区計画の内容の直面性を分かりやすく説明いただいたことが良かった。
- ・決まった人がずっと話したいだけの会になってしまっている。「？」の質問をする人が多すぎるので、こうなることをふまえて時間配分をすべきかなと感じました。
- ・不安や心配なことばかりが語られ、地域の未来を語る機会がなかった。
- ・今回のシンポ実施は有難く思っていますが、まだまだもやもやがあります。今度も引き続き何度も開催していただき、より多くの住民の納得をめざして下さい。
- ・今答えられる範囲の説明は受けられ、決まっていることとそうでないことの理解も深まった。
- ・現時点では具体的な数値が出せない状況なので、正直不安、心配の解消にはつながらない。
- ・マイナス意見が多く、もう少し前向きな意見が聞きたい。
- ・よけいに心配事が増えた。答えの歯切れが悪い。なかなか情報を出さないが、決まった部分だけでも出して頂きたい。

■第2回番町次世代シンポジウム 議事要旨

開催日時：2025年9月20日(土) 午後3時～午後7時

出席者：55名（参加：22名、傍聴：33名）

ファシリテーター：東京大学 加藤 孝明 教授

ファシリテーター補佐：東京大学大学院生 内藤 克子氏

コメンテーター（専門家）：東京大学 村山 頸人 教授

事業者：日本テレビ放送網株

事務局：千代田区 環境まちづくり部 地域まちづくり課

プログラム：1)シンポジウムの開催趣旨

2)二番町地区地区計画の概要説明

3)日本テレビからの挨拶

4)心配事の解消

5)今後の予定

【議事要旨】

1 シンポジウムの開催趣旨

区から以下を説明した。

- ・ 本シンポジウムは二番町地区地区計画の変更手続きに伴う附帯決議に基づき地区の融和を図り、前向きに話し合える場づくりとして実施
- ・ 令和7年1月に開催された第1回では番町地域全体の前向きな未来について議論したことを踏まえ、今回は日本テレビ跡地計画をテーマとし、心配事の解消を目的として実施。

2 二番町地区地区計画の概要説明

区から昨年7月に変更決定した二番町地区地区計画の概要として、資料2-2を用いて以下を説明した。

- ・ 地区計画における整備方針である、有楽町線麹町駅へのバリアフリー動線や歩行者ネットワークの整備、タクシーや福祉バス等の地域交通広場の整備、街区公園規模の広場整備などの地域貢献内容
- ・ あわせて、これまでの二番町地区地区計画のうち、日本テレビ跡地及びスタジオ棟の区域について、容積率や高さの緩和、建物の形態規制として壁面後退の制限を実施

ファシリテーター及びコメンテーターより参加者からの質疑に対してコメントがあった。

- ・ 参加者からの当日配布資料と投影資料の相違の指摘を受け、分かりやすい資料と広報の必要性について言及があった。
- ・ 参加者から、地区計画と総合設計による空地確保の違いについて質問があり、都市計画法に基づく地区計画の方が公共性の高い空間を確保できるとのコメントがあった。

3 日本テレビからの挨拶

日本テレビより、当該敷地の過去からの土地利用及び地域とのつながりを振り返りながら、引き続き地域の発展のために開発計画をいいものにしていきたいとの挨拶がなされた。

4 心配事の解消

ファシリテーターの進行により、事前に地域住民等から寄せられた心配事を整理した資料（資料3）をもとに、当日の参加者の追加意見も募り、それら心配事に対するコメンテーターからの見解、日本テレビや区の考え方を回答していった。

その上で、それぞれの心配事を以下の三つに分類し、色分けし整理した。

緑色：心配の必要が低い（解消済み）

黄色：今後の検討の中で解消（日本テレビが計画を具体化していく際に整理されていく事項）

赤色：要検討（新たな場での検討が必要となる事項）

概要は以下のとおり。

- ・過度な繁華街化や観光地化やそれに伴う住宅地としての価値の毀損、周辺での超高層開発の助長等についての心配事がでているが、現行の地区計画を踏まえると心配には及ばないとされた。
- ・周辺景観との調和や周辺環境を踏まえた適切なテナント選定、開発に伴う各種の影響(風、日照、交通)等の心配事は、今後の検討の中で心配事が解消されるよう関係者が努力する。
- ・広場等を活用したエリアマネジメントに関しては、設置の意味合いやどのような役割を果たすものかを含めて今後、共通の認識となるように情報提供を図る必要があることが明らかになった。

※心配事の解消に関する詳細は、議事要旨別紙を参照。

5 今後の予定

区から、現時点では日本テレビ跡地計画の具体的なスケジュールが示されない状況ではあるものの、心配事の解消には具体的な計画がないと議論が難しいことから、次のシンポジウムは、日本テレビから建築計画を説明する場として開催していきたいことを説明した。

以 上

大分類	中分類	小分類	心配事への見解	解消方向
1. 街並みや住環境等に関する心配	(1) 街並みへの心配	(高層ビルによる) 威圧感や周辺の景観にマッチしないのではないかと心配	・ファシリテーター：建築プランの策定段階で周辺の景観にマッチするようなデザインを進めていくよう日本テレビにお願いすべき。	
		オフィステナントなどにより人口増や不特定多数が街に出入りすることになり、番町の住環境・教育環境が破壊されてしまうのではないか。治安の悪化（犯罪の増加）が心配	・コメンテーター：周辺の住居系用途地域は今回変更になつてないため、番町全体が大きく変わる心配はないと思う。 ・日本テレビ：検討段階であることから人口増等について具体的な数字をもつて説明できない。今後計画を示す段階で説明していく。また治安悪化につながるようなテナントについては、ビルの賃貸経営にも影響を及ぼすため、誘致することはない。	
		日本テレビがコントロールできない部分で、意図しないテナントが入ることもあるのではないか心配。実際に、そういった事例もみられることから、そういった規制を設けられるようにしたほうが良い。	・日本テレビ：治安悪化につながるようなテナントは誘致しない。 ・区：風営法に該当するものは文教地区では禁止されている。違反しているようであれば、警察と協力して対応していただきたい。	
		白いスタジオ棟はあまりに地域になじんでおらず、不信感の大元の1つにもなっている。今回も地域になじむようなものになるのか心配。地域の声をもう少し聞いてほしい。	・日本テレビ：オープンハウス（地域の声を聴く場）を実施した際にも同じ声をいただいた。今回の建築物は地域の景観になじむデザインを取り入れていきたい。	
		繁華街化や観光地化してしまうこと、過剰な賑やかさになることが心配	・区：昔のようなテレビ塔があった頃のようなバスが連なるようなことをしてほしいと区は思っていないので、日本テレビには地域性を踏まえることを念頭に検討していただきたい。	
		個別企業主導の再開発にとどまっているように見受けられます。このような状況では、周辺地域の景観・環境に対する悪影響が生じるのではないかという強い不安があります。	・ファシリテーター：変更された地区計画では、地域貢献としての整備や壁面位置の指定等、民間主導にならないようにルール作りがされている。	
		今回の開発により地域の基本的な性格が変わってしまう可能性があることで番町エリアの価値の棄損につながることが心配	・コメンテーター：周辺の住居系用途地域は今回変更になつてないため、番町全体が大きく変わる心配はないと思う。	
	(2) 住環境・教育環境全般への心配	当開発により周辺での超高層開発を助長するのではないかと心配	・区：D-1,D-2地区のみを変更した地区計画であり、地域として緩和を広げていく意向ならば別だがそうではないと理解している。 ・区：また日本テレビ通り全体の街づくりのビジョンは現時点ではないが、日本テレビの事業進捗も踏まえながらビジョンを作ろうと考えている。仮に周辺に緩和を広げていく等の考えがある場合には、それはビジョンに基づきながらやっていくものと考えている。	
		高さ制限を80mになることで高層マンション・ビルに囲まれて暗く狭い環境で生活することにならないか心配	・コメンテーター：地区計画の変更はD地区のみであり、いまのところ周辺で同様の建物が建てられることはない。 ・ファシリテーター：地区計画はあくまで手段であるため、通り全体でどんなまちづくりをしていくか、ビジョンを考えていくことは必要である。	
	(3) その他周辺環境への心配	周辺の（オフィス・商業の）賃貸物件の空室化によりゴーストタウン化しないか心配	・日本テレビ：基準階の床面積が近隣ビルと違い、誘致するテナントのターゲットが異なるため、空室を誘発するものではないと考えている。	
		再開発により（エリアの利便性が増すことで）周辺住宅地の固定資産税が増えることが心配	・区：都心部でマンション価格も上がっており、何が要因で固定資産税が上がったかは明確にはできない。	-
	(4) 工事の際の心配	建築中の工事の騒音に対して覚悟をしたいが、着工までの（手続きの）流れやスケジュールが分からず不安	・ファシリテーター：日本テレビにて建築プランを決めていく段階で周知してもらいたい。	
		周辺には学校も多く、工事期間中の歩行者等への安全確保が心配	・ファシリテーター：安全対策は地域にとって心配事であり、どこの建設会社も同様に安全対策をしっかりとと考えられている。	

◆上記に関連した質疑・応答

開発に伴う来訪人数が明確にはわからないまでも規模感はある程度分かる中で、その影響が示せないというのはおかしい。	・日本テレビ：都市計画の際は地区計画の外枠でのシミュレーションを提示している。これから建築プランを具体化していく際には、高さの上限80mまで作ることを求められているわけではないことは理解しており、建築プランを作成した際にしっかりと説明していただきたい。
住民との対話が欠けているのが一番の問題と感じる。地域の人が何を望んでいるのか、しっかり整理しないまま、一部の意見を反映させたことが残念。	・ファシリテーター：地域をよくしていこうという考えは一緒であるが、コミュニケーションの失敗でうまくいかないのはもったいない。前向きな議論をする場づくりとして本シンポジウムを実施している。
今日のような機会は始まりだと思うので、それを大切にしたい。情報公開をもっと積極的に行ってほしい。	・コメンテーター：日本テレビから具体的な建築プランが出てこないとコミュニケーションもできないため、建築プランが上がってきましたうえで情報を整理し、建設的な議論をしたほうがいい。

大分類	中分類	小分類	心配事への見解	解消方向
2.都市インフラ（交通・環境・防災）に関する心配	(1)道路交通や公共交通への心配	施設利用の人口や車の増による周辺道路（車道、歩道）の渋滞や事故が心配 ピーク時の人の数が大きくなつてインフラが耐えられるか心配 日本テレビ通りは片側一車線で五番町から市谷まではさらに狭くなつております、周辺道路も狭く、負荷が心配 車両増の混雑によるバスや緊急車両の通行支障が心配 駅施設（駅連絡通路、ホーム）の混雑や事故が心配 番町中央通りの一部相互通行化により、住宅市街地への車両流入が増えるのではないか心配 複合ビルは望んでない。容積率が1.5倍になるが道路は広がらないので交通上の問題が心配	・コメントーター：新たに建物を計画するため交通への影響は当然ある。今回の心配事の視点を伝えることで、具体的な建築プランの検討段階において、どう交通に影響を及ぼし、影響をどう回避または低減できるのかが今後の大変なこと。	
		周辺交通への影響が心配。都市計画のタイミングでは、周辺交通への影響は検討しなかつたのか。	・日本テレビ：都市計画提案時に周辺道路の影響は検証し、日本テレビホームページにて数値的なものも含めて示している。分かりづらい点については改善する。 ・ファシリテーター：安心できる情報をきちんと開示していくことが大切。 ・コメントーター：交通計画は、全体の道路体系から各道路の役割分担を考え、課題があれば例えば交通規制の変更や信号現示などの対応を考えいく必要がある。	
		日本テレビが実施した環境影響調査がネットでみつけづらい 番町中央通りにイスラエル大使館があることでバリケードがしかれているが、歩行空間がどうなるか心配。今回の開発でどのようになっていくのか。	・区：環境影響調査の掲載場所（ホームページ）をお伝えした（※「番町の森」ホームページに「開発に関するQ&A」にて分かりやすく掲載済み）。 ・区：バリケードが引き続き配置されるかどうかは今後の国際情勢次第。一方で歩行空間については拡幅整備され、歩行者の安全性が確保されていく。	
		周辺への日当たり（日陰になること）、日照時間が心配 日当たりや騒音による周辺の学校生徒への健康被害が心配 周辺への風害、ビル風が心配 事前の風予測だけでなく、実際に竣工した後にビル風がひどかった場合の対応が心配	・コメントーター：建築設計の際には、日当たり、風の影響などについてシミュレーションや実験をする。そのため、今後建築プランが具体化される段階に情報を開示してもらわねば。	
		ビル（壁面など）から反射される光害が心配 ビルからの排熱量により周辺の温度上昇がないか心配 高層ビルにより周辺居住地からの眺望が阻害されてしまうことが心配 広場の作り方によっては砂が舞うなどが発生して心配	・ファシリテーター：今後の検討の中でできる限り影響を小さくしてもらうということだと考える。	
		異常気象による突風も心配。シミュレーションする際の入力値はどのような想定なのか。異常時の状況を想定はしないのか。	・区：シミュレーションは一般的な基準に基づいて行うことになる。建物の形を決める際に検討し議論してもらわねば。	
		災害時での高層建物自体（の倒壊）が心配 日本テレビ通りが狭いので、高いビルの安全性が心配	・ファシリテーター：現行の構造基準の中で建築すれば、基本的に倒壊することはなく、むしろ被災時のオペレーションを心配すべき。日本テレビのビルから全員が地上に降りてくると、広場では足りないため、在館で過ごすなどのオペレーションをしてもらわねば。	
	(3)防災への心配	新築ビルでは、区と帰宅困難者の受け入れ協定を結ぶであろうが、就業者が多く、整備される広場を含めて地域住民を受け入れることはできないのではないか心配	・日本テレビ：帰宅困難者やビルの就業者については、ビル内を想定している。広場やエリアマネジメント施設についても、災害時に地域のために役に立つことができる現時点では考えており、具体的に何ができるかは今後の建築プランをお示しするタイミングで説明させてもらいたい。 ・ファシリテーター：帰宅困難者は番町ではそれほど想定はされない。千代田区内のそれぞれのエリアで発生する帰宅困難者はそれぞれのエリアで外に迷惑をかけないように対応場所の確保に努力している。	
		日本テレビ通りでは、違法駐輪・ごみ廃棄などが問題となっているが、日本テレビの開発によって悪化することが心配 仮に一つのテナントで構成されると、通勤時間帯が重なり駅が一気に混雑するなど心配。人の動き方の時間帯が異なる・1日のサイクル・ピークが被らないようなテナントミックスを意識してはどうか。	・区：開発後の問題については、区ができるることはやっていきたいが、一方で検討段階でも対応策を考えていただきたい。 ・日本テレビ：地下鉄出入口が現状でも設置されているため、私有地の中に止められないよう、注意喚起をするなど努力しているところ。スーパー・マーケットの誘致を実現していくと、自転車利用は増えることも想定され、台数の予測や配置方策など検討課題として捉えている。 ・ファシリテーター：自転車を放置しにくい空間として、デザイン上の工夫も含めて重要である。 ・コメントーター：ピークをずらす方法としては、テナントミックスもあるし、そもそもテレワークの企業も増えておりワークスタイルの多様化もあると思うので、そういう観点も踏まえて建築プランを考えていくのが良い。	

◆上記に関連した質疑・応答

現状、スタジオ棟付近で子供が強風で飛ばされている。

・日本テレビ：現状を確認のうえ、運用面でどう対応できるか検討する。

大分類	中分類	小分類	心配事への見解	解消方向
3.施設の管理運営等に関するご心配	(1)広場の管理運営への心配	イベントによる周辺への騒音、火の扱い、衛生面、美化・ゴミ、治安など、しっかりとした管理がなされるのか不安	<ul style="list-style-type: none"> 日本テレビ：（テレビ局のある）赤坂サカスや六本木ヒルズとは一線を画し、地域発のイベントを想定している。これまで番町の森や庭でやってきた、地域でのイベントの延長で考えており、全国的に人を集めるようなイベントは行わない。 コメントーター：番町の森や庭の使い方は非常によく、今後整備される広場の使い方の練習であり、それを通して管理の体制や方法が徐々にできあがっていけばいいと思う。 	
		様々な人が集い、騒音や危険行為が野放しになるのではないか心配		
		広場のイベントによる来街者のマナー違反によって違法駐車やごみのポイ捨てが増えることが心配		
		商業的なイベント広場の常設となり、繁華街化へつながることが心配		
		日本テレビの挨拶の際の昔の紹介で、盆踊りで7,500人が集まると話していたが、そういうことを望んでいるわけではない。広場が賑やかになるのが心配。		
		イベント広場により風紀の乱れを誘発し、学生に悪影響を与えるかねないことが心配		
		オフィステナントのワーカーが広場を使い、地域住民が使えないではないか心配		
		就業者や来街者が増えると災害時に地域住民は整備された広場等の災害対応施設が使えないのではないか心配		
		広場は住民主導の使用ができるものか心配		
	エリアマネジメントの主体が民間事業者になることが不安（行政の関与）	<ul style="list-style-type: none"> ファシリテーター：2（3）で説明したように、災害時はオペレーションをすることで、広場は地域住民が主体で使っていけるようになる。平時は、オフィスワーカーも使うが、番町の森や庭の延長線上での利用を考えているため、地域住民主導で利用できる。 日本テレビ：平時は、地域の人たちもいてワーカーもいて様々なコミュニケーションが生まれる場となってほしいと考えている。運用しながら改善すべきことは改善してよりいいものにしていきたい。 		
(2)その他	イスラエル大使館前の道路封鎖が続き、交通広場が機能しないのではないか心配	<ul style="list-style-type: none"> 日本テレビ：エリアマネジメントは皆さんのご意見を伺いながら、これから本格的に検討していきたい。番町の森や庭のような延長で、もうちょっとプラスアップするような使い方でイベントはやっていきたい。主体となる団体についても、地域の皆さんで日本テレビがサポートする形を考えている。 コメントーター：エリアマネジメントは、行政が広場管理を行うと公平性の観点からどうしても最低水準になるため、エリア価値をあげるために民間主導でやることに意味があるということが基本的な考え方。その時に多様な主体と連携した体制を組んでいくことが肝要。 		

◆上記に関連した質疑・応答

夜と週末が静かなことが番町の良さなので、イベントはやめてもらいたい。学校の文化祭や運動会で十分である。	<ul style="list-style-type: none"> ファシリテーター：番町の良さとは何かを、もう少し広い範囲でみんなで議論することが重要。まちは時代によって変わっていくもので、昔の良さも近未来の良さも幅広くとらえながら、未来の姿を描いていく場づくりが必要。 コメントーター：エリアマネジメントに関する既存の事例は賑わいや活性化に偏重する傾向があり、どうしても商業イベントに頼ることが多い。施設の賃貸収入をエリアマネジメントの活動費に活かすなど、収支計画をどう組み立てるかも、活動内容を考える上では重要。
仮にテナントで入った大企業が広場で運動会やりたいといったらその時の対応は？	<ul style="list-style-type: none"> 日本テレビ：広場は、赤坂サカスのような商業的な活性化ではなく、地域の憩いの場としての活性化を想定している。日本テレビとしてはサポートする立場であり、具体的にそういった事があった場合にどのように広場を運営していくかは、エリアマネジメント団体がどのように考えるかによる。
仮にビルに大テナントが入った場合には発言権が大きくなり、意向に逆らえないのではないか？	<ul style="list-style-type: none"> ファシリテーター：エリアマネジメント組織を組成する段階で、地域の方が積極的に参加すればご心配の状況にはならない。
オープンスペースの有用性として、街区公園の不足があげられている中で、面積も設定されていたと記憶している。街区公園は地域の方が使うものであるので、広場で行うイベントもこの地域で行う必然性のあるイベントを行うべき。エリアマネジメントと街区公園として設定した関係性の整理はどうなっているか。	<ul style="list-style-type: none"> コメントーター：地域で必要となる公園規模として、街区公園規模の広場を作っていると認識している。広場を使った地域のための取り組み・活動は、エリアマネジメントを組成してやっていくことなので、そういった仕組みづくりをしっかりとやっていただきたい。
広場が欲しいという意見は確かにあったが、エリアマネジメント団体が必要だ、ということではなかったと思う。	<ul style="list-style-type: none"> 区：広場ができるがエリアマネジメント団体がないとなったら、広場の使い方のルールなどが地域にとって十分に開かれたものにならなくなってしまう。そのため、地域住民が主体となるエリアマネジメント団体がルールや役割を設定し、運営を担うことが大事になってくる。エリアマネジメントは地域のためになることを地域の方が考えて活動していくものである。
広場やエリアマネジメント棟の維持費がかかるので、エリアマネジメントでイベント実施していくなければならない、という考え方か。	<ul style="list-style-type: none"> 日本テレビ：広場等の維持管理に日本テレビが関与しないというわけではないが、様々な活動するにしても、人件費・設営などソフトコンテンツの維持費がかかってくる。それを未来永劫日本テレビが全て見ていくのは難しい面もある。
維持費がかかるのでエリアマネジメント棟を建てないという結論はないのか。	<ul style="list-style-type: none"> コメントーター：エリアマネジメント（地域価値向上のための地域の主体的な活動）とプロパティマネジメント（不動産としての資産管理）が混在している。連携している部分もあるが、エリアマネジメントは街区外の貢献なども含め考えしていくものである。ただ、活動のあり方は今後決めていくものであり、棟の必要性は現時点で議論することは難しい。
エリアマネジメント棟を建てないということは地区計画に反するのか。	<ul style="list-style-type: none"> 区：棟の整備は地区計画で定められている。作らない場合には地区計画の変更が必要になる。 ファシリテーター：エリアマネジメントが果たす役割を具体化していく必要がある。エリアマネジメント施設を単に金儲けの施設と捉えると不要に思えるが、コミュニティを育む拠点施設と捉えると必要となる。ただ、捉え方には相当幅があるので、どういったことを狙っていくかは、引き続き議論が必要。

第2回 番町次世代シンポジウム アンケート

本日は「第2回 番町次世代シンポジウム」にご参加いただきありがとうございます。

アンケートにご協力を願いいたします。

なお、アンケート結果は今後のまちづくりに活用するほか、必要に応じて千代田区議会・委員会、都市計画審議会等に説明(公表)させていただく予定です。予めご了承ください。

■あなた自身のことについて

年代	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80歳以上
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> 答えたくない
職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 専業主婦・主夫 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他
番町地域との関わり	<input type="checkbox"/> 番町地域に在住 <input type="checkbox"/> 番町地域に通勤 <input type="checkbox"/> 番町地域に通学
本日の参加形式	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 傍聴

■これまでの番町地域の説明会等の参加について

Q1	番町地域でこれまでに開催された説明会やオープンハウス、シンポジウム等に参加したことはありますか。
	<input type="checkbox"/> 何回か参加した <input type="checkbox"/> 一度参加した <input type="checkbox"/> 知っていたが参加したことはない <input type="checkbox"/> 知らなかつた

■本日のシンポジウムについて

Q2	本日のシンポジウムを知ったきっかけをお教えください。
	<input type="checkbox"/> 区ホームページ <input type="checkbox"/> 広報千代田 <input type="checkbox"/> 区ポータルサイト <input type="checkbox"/> 掲示板 <input type="checkbox"/> 知人から聞いて <input type="checkbox"/> 麹町区民館 <input type="checkbox"/> その他(場所など:)
Q3	本日のシンポジウム等の募集情報はどういった場所で告知されると便利だと思いますか。
	<input type="checkbox"/> これまでの告知場所(区ホームページ、広報千代田、区ポータルサイト、掲示板等) <input type="checkbox"/> その他(自由意見:)
Q4	本日のシンポジウムの満足度をお教えください。
	<input type="checkbox"/> とても良かった <input type="checkbox"/> まあまあ良かった <input type="checkbox"/> あまり良くなかった <input type="checkbox"/> 全く良くなかった ⇒そのように 感じた理由

Q5	今回のシンポジウムは心配事の解消につながりましたか。
	<input type="checkbox"/> 解消された <input type="checkbox"/> ある程度解消された <input type="checkbox"/> あまり解消されなかった <input type="checkbox"/> 全く解消されなかった <input type="checkbox"/> 心配事は特にない ⇒そのように 感じた理由

裏面へ続きます

Q6	シンポジウムの参加前と参加後で、変わったことがあればお教えください。
Q7	他に本シンポジウムで取り上げてほしいテーマがあればお教えください。
Q8	地域をよりよくしていくため、多様なメンバーと意見交換を行う場が番町地域に必要と感じましたか。 <input type="checkbox"/> とてもそう思う <input type="checkbox"/> そう思う <input type="checkbox"/> あまり思わない <input type="checkbox"/> 全く思わない ⇒そのように 感じた理由
Q9	Q8で「とてもそう思う」・「そう思う」とお答えした方にお伺いします。 意見交換の方法について、ご意見があればお教えください。
Q10	今回のシンポジウムを踏まえ、改めて思い描く番町地域の将来像などがあればお教えください。

～アンケートは以上です。シンポジウムのご参加及びアンケートへのご協力ありがとうございました。～

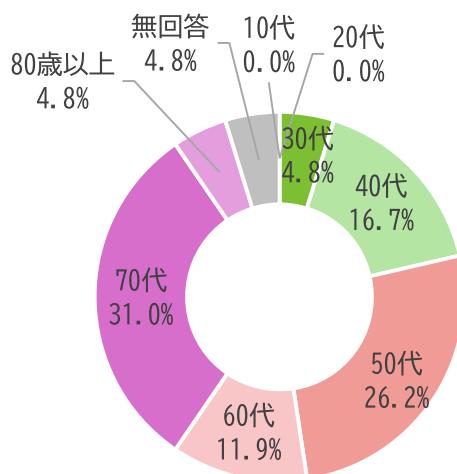
第2回 番町次世代シンポジウム アンケート

回答者総数は、 42 人である

■あなた自身のことについて

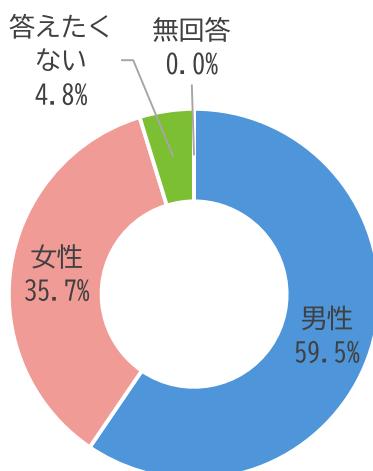
【年代】

		回答数	割合
1	10代	0	0.0%
2	20代	0	0.0%
3	30代	2	4.8%
4	40代	7	16.7%
5	50代	11	26.2%
6	60代	5	11.9%
7	70代	13	31.0%
8	80歳以上	2	4.8%
9	無回答	2	4.8%
計		42	100.0%



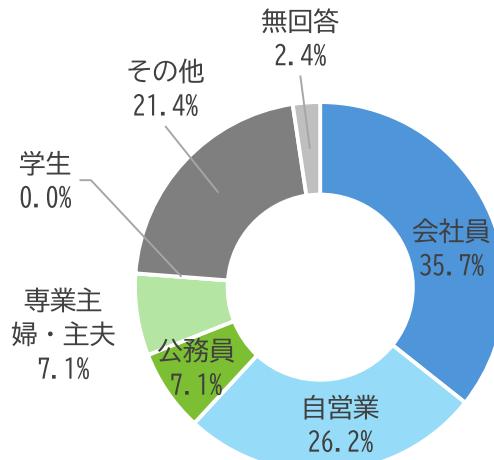
【性別】

		回答数	割合
1	男性	25	59.5%
2	女性	15	35.7%
3	答えたくない	2	4.8%
4	無回答	0	0.0%
計		42	100.0%



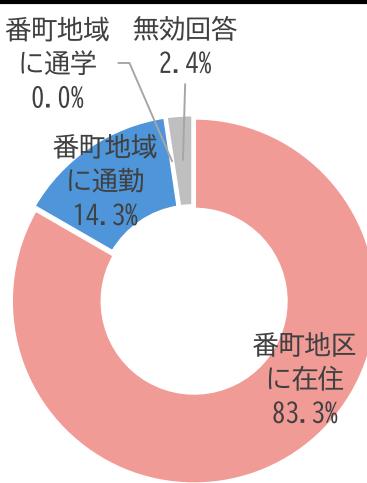
【職業】

		回答数	割合
1	会社員	15	35.7%
2	自営業	11	26.2%
3	公務員	3	7.1%
4	専業主婦・主夫	3	7.1%
5	学生	0	0.0%
6	その他	9	21.4%
7	無回答	1	2.4%
計		42	100.0%



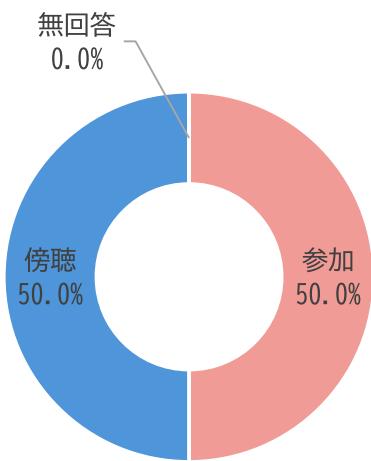
【番町との関わり】

		回答数	割合
1	番町地区に在住	35	83.3%
2	番町地域に通勤	6	14.3%
3	番町地域に通学	0	0.0%
4	無効回答	1	2.4%
計		42	100.0%



【本日の参加形式】

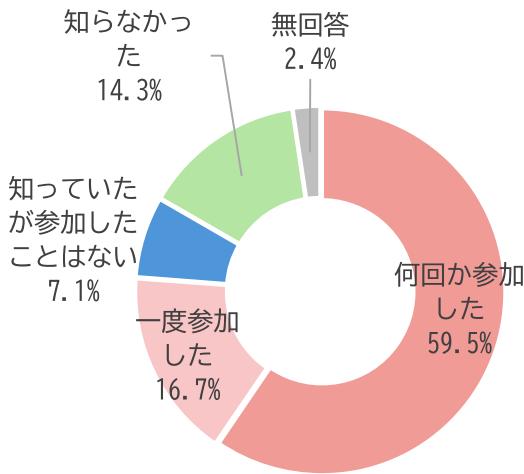
		回答数	割合
1	参加	21	50.0%
2	傍聴	21	50.0%
3	無回答	0	0.0%
	計	42	100.0%



■これまでの番町地区の説明会等の参加について

Q1 番町地域でこれまでに開催された説明会やオープンハウス、シンポジウム等に参加したことはありますか。

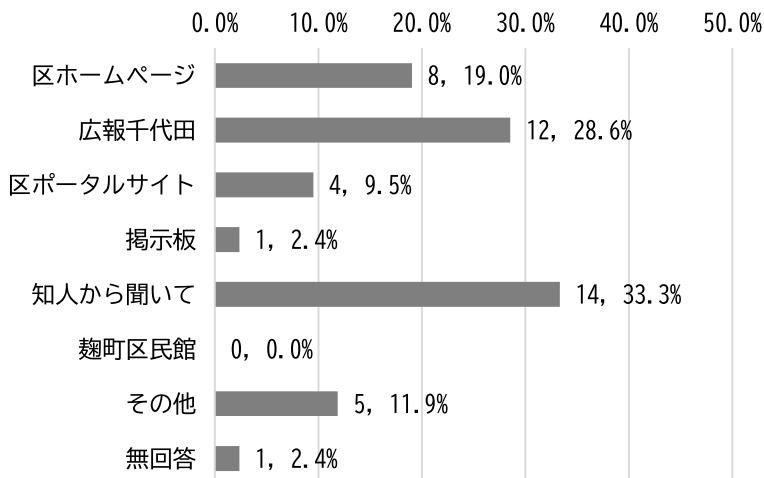
		回答数	割合
1	何回か参加した	25	59.5%
2	一度参加した	7	16.7%
3	知っていたが参加したことはない	3	7.1%
4	知らなかった	6	14.3%
5	無回答	1	2.4%
計		42	100.0%



■本日のシンポジウムについて

Q2 本日のシンポジウムを知ったきっかけをお教えください。

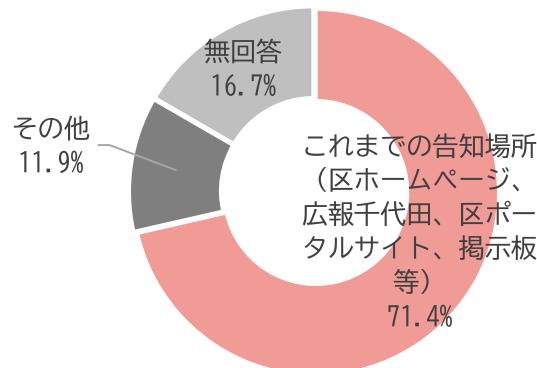
		回答数	割合
1	区ホームページ	8	19.0%
2	広報千代田	12	28.6%
3	区ポータルサイト	4	9.5%
4	掲示板	1	2.4%
5	知人から聞いて	14	33.3%
6	麹町区民館	0	0.0%
7	その他	5	11.9%
8	無回答	1	2.4%
回答者数		42	—



■本日のシンポジウムについて

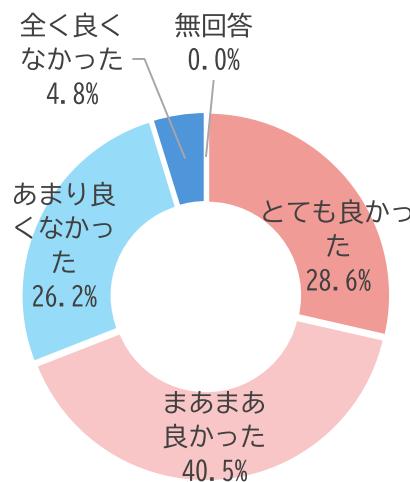
Q3 本日のシンポジウム等の募集情報はどういった場所で告知されると便利だと思いますか。

		回答数	割合
1	これまでの告知場所 (区ホームページ、広報千代田、区 ポータルサイト、掲示板等)	30	71.4%
2	その他	5	11.9%
3	無回答	7	16.7%
計		42	100.0%



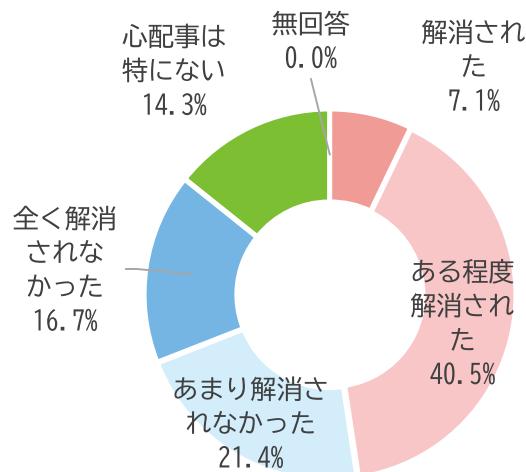
Q4 本日のシンポジウムの満足度をお教えください。

		回答数	割合
1	とても良かった	12	28.6%
2	まあまあ良かった	17	40.5%
3	あまり良くなかった	11	26.2%
4	全く良くなかった	2	4.8%
5	無回答	0	0.0%
計		42	100.0%



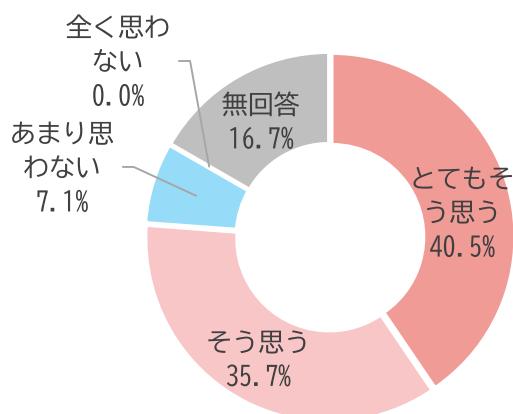
Q5 今回のシンポジウムは心配事の解消につながりましたか。

	回答数	割合
1 解消された	3	7.1%
2 ある程度解消された	17	40.5%
3 あまり解消されなかった	9	21.4%
4 全く解消されなかった	7	16.7%
5 心配事は特にない	6	14.3%
6 無回答	0	0.0%
計	42	100.0%



Q8 地域をよりよくしていくため、多様なメンバーと意見交換を行う場が番町地域に必要と感じましたか。

	回答数	割合
1 とてもそう思う	17	40.5%
2 そう思う	15	35.7%
3 あまり思わない	3	7.1%
4 全く思わない	0	0.0%
5 無回答	7	16.7%
計	42	100.0%



Q3	本日のシンポジウム等の募集情報はどういった場所で告知されると便利だと思いますか。 その他（自由意見）
	全戸配布してください。「まちづくりニュース」のような体裁でニュースリリースしていただきたい
これまでの参加者への個別連絡	
地区住民へのチラシ配布	
いきいきプラザ一番町	
千代田区 LINE	
これまでの告知場所に加え、日テレ跡地に接する二番町、四番町、六番町、一番町の一部に簡単なチラシを配布。既存媒体の場合もタイトルがシンポジウムではわかりにくいので、「日テレ跡地に関する話し合いの場」がまず目に入るよう書いてください。	

Q4	本日のシンポジウムの満足度をお教えください。 1：とても良かった 2：まあまあ良かった 3：あまり良くなかった 4：全く良くなかった ⇒そのように感じた理由
	1 相方（住民・日テレ）の考え、思い想いを知ることが出来た 1 最後のエリマネについての議論がよかったです 1 日テレ・千代田区住民とが専門家の交通整理のもとで話し合うことができたこと 1 オープンな意見交換になっていると感じました。 1 シンポジウムは今後も続けて欲しい。日テレは計画を早く出して欲しい。 1 地区計画を簡潔にまとめて説明があり、都計審の先生からも地域貢献に応じた地区計画の内容の直面性を分かりやすく説明いただいたことが良かった。 1 多様な質問に丁寧かつスムーズに対応し参加者の理解も深まったと考えます 1 地域住民の心配内容がストレートに表明されていたのは良かった。 1 とても良い機会だった。回数はあと1回で充分。正直、心配事だとここまでOK。 2 良かったが、時間がかかるて当然の内容であるため、当初の時間設定に無理があった 2 加藤先生、村山先生のサポートに感謝しています。また内藤さんも率直なご意見を 2 時々はさんで下さり有難かったです。日テレ担当者さんの対応の変化には正直驚きつつ嬉しく思いました。画期的でした！！ 2 概要が分かった 2 対立点を意識しつつ議論を進めることができたと思う。 2 反対という方が、どのように考えているかなど直接目にできた 2 知らなかった情報を得る事が出来た。問題点が納得できるように説明されなかった。

2	色々な意見が聴けた。日テレもわざわざ狭い土地に超高層なんて
2	専門の教授から、法令や最近の研究結果に基づく意見を聞けたのは議論の方向性を整えるのに役立っていた。あらかじめ住民からの質問に対する回答を公開しておいた方がよいかと。ディスカッション時間を有効活用するためにも。
2	建設的だと感じたため
2	もっと意見が出しやすい様な進め方をしてほしい。
2	長かった。
2	色々な事を心配している人がいる事にびっくりしました。50年以上番町に住んでいますが世の中が変って来ている事を分って欲しい
2	初めて参加しました。意見を聞けて良かったです。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・開催されたことはよかったですし、関係者のご努力にお礼申し上げたい。ただ、こうした一般住民が意見を口に出して言える場は初めてである。もっと早い段階からあればよかったです。 ・「附帯決議に基づき、住民の不安、懸念を聞く会」で、住民の懸念や生活実感を具体的に聞いてもらえる会だと思っていたが、発言者の時間が制限されているのに、解説や日テレのプレゼンには長くとられてしまっていた。時間の無駄に感じるところがあった。 ・決まったことの説明も詳しい資料がなく、よくわからなかった。高さ制限が60mから80m、容積率が約460%から700%にも上げられることが書かれていない。 ・「附帯決議」に基づく会のことだったが「附帯決議」については説明がなかつた。地区の要望に応じて、高さも容積率もいっぱいに使わないこともできることが伝わらなかった。 ・もともと意見書も出していたが、自分の書いたものは載っていなかった。数行分を切り出して分けしたものでは伝わらない感じがした。同じ意見の数もわからない。 ・住民の懸念や生活実感に対し、用意された回答はどれも日テレ案を擁護している感じで違和感があった（日テレ寄りの回答ばかりで、住民に寄り添う感じがしなかつた。） ・都市計画的に理論的に整合性がとれている計画でも、住民感覚と合わないことがある。現場の声や感覚を聞いてすり合わせてほしい。 ・しかし、住民の懸念は些細なことばかりだとか、一般的にそんなことは心配ない、とどんどん跳ね返されていった感じだった。
3	そもそも説明時の資料が配られていなかった（区の説明の時に写された資料は配布していない）これを既成事実にして「話し合いました」と言って欲しくない
3	<ul style="list-style-type: none"> ・心配事の解消に焦点を当て過ぎ（コミュニケーション欠如など）本質的問題の議論の場になっていない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・一方的説明が多く、住民側意見の時間が少ない。 ・日テレ側の具体的計画説明が無い（手の内を明かさ無い）
3	1分間スピーチを依頼されたが、出番はなかった。
3	同じ人ばかりが長々と話す、時間制限があるにも拘わらず自分の言いたい事ばかり言う。
3	時間が足りないと思う。
3	決まった人がずっと話したいだけの会になってしまっている。「？」の質問をする人が多すぎるので、こうなることをふまえて時間配分をすべきかなと感じました。
3	あまり話しが進んだ様に思えなかった。
3	<ul style="list-style-type: none"> ① 1月12日のイベントと同じ名前の第2回という名称は、おかしいと思ったが、二番町地区計画変更の附帯決議の「尚書き」以外の部分も意識したように見えるセッティングで開催されたことは、誠に有難いことであった。 ② 予定終了時刻を越えても延長して会が継続されたことも、有難いことであった。 ③ 冒頭の区からの説明は、投影資料とは別の資料が配布され、説明内容としては、附帯決議の背景・全体、「二番町計画の検討ステップ」の説明が割愛され、参加者に、附帯決議と本イベントの関係、本イベントでの討議のテーマやスコープが、正確に理解されないまま、会が進んだことが懸念される。また、エリマネについては、説明が全く不十分で、都計審の委員も十分理解していなかったことが判明した。 ④ 参加者が懸念事項の説明をするのに1分間は、短すぎた故もあり、深く聞いてもらえなかっただけもあり、十分な根拠の説明なく「一般的には問題ない。」、「日テレが何とか対応するでしょう。」等のコメントで打ち切られて、次のテーマに移ってゆくことが多かった。 ⑤ 日テレの対応が是認されるなかで、懸念事項へのコメントがなされるケースが多く、一般住民の目線から懸念されることの番町固有の問題点が、本当には理解されていないと感じることが多かった。
4	不安や心配なことばかりが語られ、地域の将来や未来を語る機会がなかった

Q5	今回のシンポジウムは心配事の解消につながりましたか。 1：解消された 2：ある程度解消された 3：あまり解消されなかった 4：全く解消されなかった 5：心配事は特にない ⇒そのように感じた理由
1	1つ1つ丁寧にご返答いただきました。
2	今回のシンポ実施は有難く思っていますが、まだまだもやもやがあります。今度も引き続き何度も開催していただき、より多くの住民の納得をめざして下さい。

2	日テレの言質が取れた。スタジオ棟の認識→反省している？（外観のひどさ）を知ることが出来た。
2	今できることと、今議論しても意味がないことが分別されてよかったです。スタジオ棟の風害について体験です。風が強くなったのは事実です。ビルのせいか環境のせいかはわかりませんが、お年寄りが電柱にしがみついていたり、杖を持った方が通りを渡れずにいたのを手助けしたことがあります。私自身も木の陰に身を寄せて風の弱まるのを待つのはしばしばです。
2	今まで何が議論されていたのか、かなり基本的な質問が多かった
2	今答えられる範囲の説明は受けられ、決まっていることとそうでないとの理解も深まった
2	丁寧に説明頂いたから
2	たならばや、個人の価値観を皆の意見などと言いかえられてしまい残念な発言もあつた。
2	日テレのテナント選択による、ビルの整合性・適合性
2	日テレの気持ちは理解できました。
3	価値観の違う（実には利害が相反する）住民・地権者・ビルオーナーそれぞれが持つ心配事は解消されない。大事なことはより多くの人がより少なく不満を持つような結論を導くしかないと思う。
3	具体的な計画ができてなさそうなので、未解決の日テレの課題が多数残っている
3	<ul style="list-style-type: none"> ・回答可能な設問設定となっている ・区側の回答が通り一通で具体性が無い→企業側スタンスに過ぎる
3	<ul style="list-style-type: none"> ・付帯事項に関する本質的議論になっておらず「住民の意見を聞いたよ」という「アリバイ作り」にさえ感じる ・「安心させよう」とする日テレ/区側の意図が透けて見える。
3	現時点では具体的数値が出せない状況なので、正直不安、心配の解消にはつながらない。
3	超ザックリで良いので、スケジュール感を知りたい。
3	問題が多くすぎる
3	マイナス意見が多く、もう少し前向きな意見が聞きたい。
4	よけいに心配事が増えた。答えの歯切れが悪い。なかなか情報を出さないが、決まった部分だけでも出して頂きたい（日テレも区も）
4	容積率を上げるための広場という認識しかなかったが、広場をいじるためにイベントなどをしなければならない、と知って”広場いらなかつた”と思った。コミュニティの核という意味がわからない。
4	不明事及び返答が多すぎる。

4	<p>異常気象は、もはや異常ではなくなり、「起こりうるもの」として、ある程度、予見可能になっている。強い風が吹き、これがビル風効果で、更に助長され、万が一、事故が起きて死者でも出れば（あくまでも仮定の話）、遺族は東電（福島第一）の時のように、「予見可能であったはず」と業務上過失致死 傷罪などで刑事告発するかもしれない。今回のシンポジウムでは今までのルールに基づいて建築の可否を判断するとの説明だったが、本当に今までのルールでよいのだろうか。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・たとえば道路が狭いままで、かつて日テレがあったころのような渋滞や、頻繁に事故が起こっていたようになる、というのに対して自家用車使用が減っているなどという説明があつたが、住民の実感とは異なっている。タクシーや救急車の出動はふえている。日テレがあつたころの渋滞はひどかったが、入居者数が明確でない賃貸ビルでかつ、商業ビルになるとまた一層ひどくなると思う。 ・東日本大震災の時は道路も町全体も大混雑で大変だった。これは目撃した者の証言を軽視しないでほしい。大地震時には、車両火災の連鎖が懸念されているが、狭い道路では逃げ場がない。当時より昼間人口が大幅に増えているところに商業ビルが建つのは本当に恐ろしい。 ・麴町駅は階段が残り、障碍者や体が弱い者は依然として使えない、というところもうやむやだった。 ・店舗を入れるのは町のためという言い方がされてきたが、日テレが容積率を上げるために必要なことがわかつた。しかも大きいスーパーが入るわけではない。 ・このように貢献が大げさに言われている懸念があるが、取り上げられなかつた。 ・2500 m²もの広場が欲しいなどと言う声はまわりでは一人もいない。住民が頼んで <p>もいない地域貢献、中途半端な地域貢献とバーターで日テレは1.5倍の収益を上げられ、住民には道路と駅の混雑とビル風、という環境負荷が降りかかるのはやはり納得できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタジオ棟のビル風を日テレさんが認識していないのは驚いた。 ・環境負荷も基本計画が出ないと試算できない、と言っていたが、日テレが都計審に出したものでよいかから説明がほしい。都計審に提出したものと基本計画後の試算が大きく違ってくるほうがおかしい。 ・一番おかしいと思ったのは、「イベントをやりたいと言う人がいるので、エリマネ棟がいる」という説明。イベントをやりたいというのは何団体いたのか。むしろ「閑静な住宅地を守りたい」というのが番町の総意に近い。番町住民の声より、一部の日テレに近い団体の声のほうが取り入れられていたということか。 ・コミュニティの醸成とか安全管理というが、町会とマンション住民の関係は番町の中の問題だし、安全面ではしっかりした管理サービスを重視してマンションを買っている。コミュニティ醸成は日テレに関わっていただくことではないし、他地域の一般論はあてはまらない。（番町は個人情報に敏感な方が多い。プライバシーが守れるので住んでいるという人も多い。他地域と違い、民生委員が機能しない、というのも

	<p>よく言われている。) むしろ大型の商業ビルが建つことで人流が増え、治安が悪化すると考えている人のほうが多い。(今はオフィスが中心だが、夜も休日も営業する店舗が入ると恒常に人が街に出入りする)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントは作られたニーズである。もともとは盆踊りの希望だけだった。イベントがあれば人は来るだろうが、そうした喧騒がないのが番町だった。ぐっと静かになる週末を心待ちにしているのに、番町の森のイベントがあると、窓を閉めるとか、外出せざるを得ない、との声もある。番町の価値が落ちてしまう。 ・ 同じ日テレ通りでも五番町の先、市ヶ谷駅近くなら複合ビルでもよいと思う。「日テレ通り」と「住宅地としての番町」が混在したまま計画が進められたのがいけなかつたのではないか。 ・ 日テレの計画はいらないものを作り出し、むしろコミュニティを分断してしまった。 ・ 建築費高騰でも断行されるとすると、テナントのめどがついているということか。日テレの方は、周りのビルとは格が違うものになるので、競合しない、などと言われていたが、最近法外な価格で外資に買い占められているマンションのように、また、高騰している建築コストをカバーするために法外な賃料で外資に貸し出すということになるのだろうか。
4	<p>① 冒頭の説明のなかで、「付帯決議」が「付帯意見」と呼ばれていた。附帯決議の取り扱いが、大きなポイントであるなかで、誤って軽い名称で呼ばれることに、違和感を感じた。附帯決議の重要性認識、附帯決議で求められていることを全うする覚悟を再度区に確認する必要性を感じた。</p> <p>② 「資料3」の分離された心配事の分類と表現が、住民の心配事を正確に伝えるには十分ではなかった。提出された意見書の記載方法が達意でなかった可能性もあるが、記載された心配事を分解してしまったせいである可能性もあるが、いずれにしても、適切に伝わっていなかった。その結果、切り刻まれた心配事が、一般論を援用したり、或いは、日テレの判断に委ねる等のコメントを使って、軽々に処理された。</p> <p>③ 「1. 街並みや住環境等に関する心配」では、「交通至便でありながら、閑静で静謐な住宅地、安全で静かな文教地区である稀有な環境」、「夜間・週末は静寂が保たれ休まる住宅環境」といった、ただ単に便利ではなく、いつでも静かという訳ではないユニークな好環境が、数千人単位で就業人口を増加させる超高層ビル建設によって破壊されることが危惧されている。「用途地域は変わらないので大丈夫」、「オフィスにおける一人あたりのスペースは昔より大きくなっているので容積率が大幅に増加しても就業者数は増加しない」、「地域貢献になることがいろいろあるので大丈夫」などと言われても、日テレがテナント企業に就業者数を指定できるはずもなく、車道幅が狭いことは区が設定した地域課題に挙げられておらずそれに対応する地域貢献もない中では、心配事は解消されなかった。</p>

	<p>心配事・懸念点を聞く会であるなら、一般論から脱し、番町の住民が感じている事実に基づく危惧を住民と同様に認識して、内容の検討・対策策定を進める方向性を示して欲しかった。</p> <p>④ 超高層ビルが二番町に始まって四番町にも拡がる懸念について、区から、地区計画は変えられ得るとの説明、住居地区、商業地区などの用語を使ったコメントがあったが、一部言い間違いがあったように思われ、内容を理解できなかった。再度の説明をお願いしたい。</p> <p>⑤ 交通渋滞は番町バス停周辺など現在既に毎日のように実際に発生しており、交通事故多発は2004年の日テレ汐留移転まで実際に月数回と異常な高頻度で発生していた。700%を容積率の上限とする超高層のテナントオフィスビルが建つても、「最近は1人当たりのオフィススペースが広いので就業者が増加しない」、「最近の駐車場の状況から判る通り、自動車の使用は減少しているので車両通行数は増加しない」、「地域の道路全体の交通規制の在り方の検討などと併せて対策を考えなければならない」と言わざるを得ない。納得に至る裏打ちデータもない、口先の説明に聞こえ、懸念は解消されない。容積率と就業者数を数段階で設定し、日テレ通りと周辺生活道路の車両交通量のシミュレーションを行って、必要かつ可能な対応策を織り込んだ基本計画を進めて欲しい。設計がある程度進まないと、検証ができないというコメントは、特に、就業者数と車両交通量に関しては、理解不能で納得できない。是非、基本計画策定の前に、このような検証を行って、上限値700%からゆとりのある設計にすることを実現する基準にしてもらいたい。</p> <p>⑥ 駒町駅のホームのスペースは大きくならない中で、容積率上限700%の超高層テナントオフィスビルの建設で就業者が増えても、始業時間を部署によって変えれば、ピーク時の混雑も平準化できるとの説明は、あり得るかもしれないが、テナントとして入る企業が決めることに日テレや区が縛りを入れることが困難と考えられ、無責任なコメントと認識され、懸念事項の解消には程遠い。区、或いは、貸しビル業者である日テレが、テナント企業の部署ごとの始業時間の設定を強制する方策があるのであれば、その方策の説明も聞かせて欲しい。これについても、容積率・就業者数と駒町駅利用者数の相関を実証的に検証するシミュレーションを行い、その結果に基づいた検討・議論をするようにしてもらいたい。</p> <p>⑦ ビル風については、これから建てられるビルの計画と一体化されるスタジオ棟周辺で、既に被害が顕れていることを、日テレの担当者が知らなかつたことで、日テレのビル風についての認識が浅いことを目の当たりにすることになった。スタジオ棟については、対応する旨のコメントがあったことは幸いであった。今後、経過を聞かせて欲しい。ビル風の検証は、ルールに従ってやるしか方法がないような回答であった。千代田区内でも、ルールに従った事前検証で問題なしとされ、建ってから、時として危険なビル風が吹きすさぶビルは、何棟もある。番町</p>
--	--

	<p>は、丸の内大手町のようなオフィスビル街とは違って、子供も高齢者も居住する住宅地であり、児童生徒が通学する文教地区であるので、ルールに従っただけではなく、生活している住民の感覚に沿った検証を行って、住民の安全・安心と感じられる対応策を施した建物にしてもらいたい。スタジオ棟周辺のビル風について、日テレの対応について、今後の経過を知りたい。</p> <p>⑧ 「3. 施設の管理運営等に関するご心配」については、何がどう決まっているのかが、住民にも、都計審区民委員にすら、共有されていないことが判明した。 （冒頭でも十分説明されなかった。）このイベントで、具体的な心配事を問合せ、回答を得るというやり取りは、判らないことがたくさん残っていることを認識する機会になって良かったが、不安・疑問と共に、懸念点・心配事は、大きくなつた。</p> <p>⑨ イベントに使われることが前提のように、イベントがあった場合に発生するであろう事態が心配事として挙げられている。2500 m²の空地は、番町地域に不足しているとされた街区公園を補うものであるので、当該地区の住民の日常使用に供されるもので、二番町で行う必要性も必然性もないイベントは開催されないと認識が正しいことを確認したかったが、「イベント開催を希望する人もいる。」とのコメントしか得られないまま、次に進められてしまい、根本的な事項の確認ができなかつた。</p> <p>⑩ 街区公園並みの公開空地は、公的な性格を持つ 2500 m²であり、所有者が自由に使用できるものではないとの認識である。区は、協定を締結して、公的性を持つことを反映する運営を行うようにコントロールする旨の説明を前に聴いた気がするが、本日のエリマネの説明とはどう関連するのか、判らなかつた。説明して欲しい。</p> <p>⑪ エリマネについては、基本的な事項の認識を共有した上で議論する必要があるが、本日は、その時間がないとのコメントがあつた。訳の分からぬ参加者が断片的な知識・情報に絡んで発言していたことになると思われる。何を前提にして何が決まっていて、今後は何をどうしてゆくのか？街区公園としての使い方以外のイベントなどで静寂を破る使用は止めて欲しいという住民の要望をどのように取り入れてゆくのか？などについて、説明して欲しい。</p>
5	従来からていねいな説明が尽くされており、心配事はない。心配事が発生すれば都度解消すればよい
5	心配事項については想定内で、全て解消は難しいと思っております。
5	大項目についてよく整理されており、ファシリテーターの先生がうまく分かりやすく進めていただいたので良くある説明会の「反対」「反対」の話で終わらずに良くまとめていただいたと思います。

Q6 シンポジウムの参加前と参加後で、変わったことがあればお教えてください。
住民の日テレ再開発に対する不信感の理由（高さ制限変更の周知不足）
まっ白のスタジオ棟が町の中で異質に見えるという意見があったが、それについて、色を塗り換えればいいと仰る方が近くの席にいました。ナルホドと思いました。町全体のイメージがかたまつたら、そんなお願いをするのもアリかも？他にも新しい技術の進歩やアイデアで出来ることがありそうと感じます。
反対する方々の意見が理路整然としていた
日テレ開発の状況について理解が深まった
今回の開発において日テレの地域と向きあおうとする姿勢を感じた。
極端な意見もある中、そこに偏らずファクトベースで進める姿勢により信頼感を得た
日テレ計画の様子がわかった
少し前に進んでいる様に思った。
日本テレビ側の計画案が定まりきっていない状況なので正直あまり変わりはないです。
よく心配事が考えられていると思いました。
人の意見（価値観・思い込み）は変わらないことが理解できた。心配している人は特に。
地域にふさわしい商業施設の入居、共同住宅案が良いと思っていたが（住宅付置義務） <でもやっぱり総人口を考えると、共同住宅がいいかあ> 混合案がいい。オフィスでも、一部上場企業とかが入れば問題ない。
相手の話をよく聞かずその為自分の都合ばかりを言う人がいる事がよくわかりました。
理解が深まった
早く進めてほしい
参加することに意味があったのかな？と思った。
150mが 80mになり、工事費高騰から実際にはより低くなる可能性に希望を持った。
（1） 上記（Q5）で答えたように、心配事は解消されず、シンポジウムの参加前と参加後で、何も変わらなかった。2025年9月11日の太田区令和島の突風ではコンテナが突風により横転し、作業員の男性2人が下敷きになり、うち1人が死亡している。2025年9月5日の静岡県牧之原市や掛川市などの突風では複数の大型トラックが横転。同じ日、静岡県吉田町では突風で横転した軽貨物自動車に乗っていた50代の男性が死亡した。このような異常気象は事業者や行政の責任ではないが、道幅が15mしかないところに高層ビルを建てれば、ビル風がひどくなる。異常気象とビル風とが合わさって、大きな事故につながりうることを懸念している。
（2） なお日テレ通り沿いは住宅地域との説明があったが、千代田区の都市計画図を見ると商業地域となっている。
1. 2024年7月に、区がステップ図を使った説明で、進め方と期間の目処については、「関係団体・住民の意見収集、与件の整理と日テレへの提示、日テレの基本計画策定（半年以上）、基本設計（約1年）、詳細設計（約1年）」と認識していた。20日に、

日テレからの、最短最速で、2027年着工を目指しているとの発言を聴いて、手順・スケジュールについて、再度、確認を要するとの認識に変わった。（2024年7月に区が策定したステップ図には、全く言及されなかった。進め方のステップ図と現時点のスケジュール見通し（条件付きでないと作成困難かもしれない。条件付きで全く構いません）を再度策定して欲しいと思っています）。

2. 区と我々住民は、附帯決議の重要性の認識を、共有できている可能性があるかも知れないと感じられた。（1月12日の区役所10階で開催されたイベントでは、附帯決議の内容を区が都計審の意図を汲んで正しく理解しているとは思えなかった。）

Q7 他に本シンポジウムで取り上げてほしいテーマがあればお教えください。

文教地区の啓蒙

エリマネについて話を続けて下さい

・日テレさん具体計画をもとに話し合う ・エリアマネジメントについて

エリアマネジメント

今回は、にぎわうことのネガティブな論点に終支した印象があるので今回の開発によるポジティブな面も聞きたい。

日本テレビ通り沿道の方向性

「静けさをどうやって守るか」「エリアマネジメントの必要性」

二番町に限らず、番町全体が、どのような町づくりを行うべきか、どんな町を望むのかのビジョン共有をする必要があると思う。「番町」のくくりでディスカッションする場を設けてもよいのでは？

今後、開発計画が進展した際に説明会をお願いします。

今後の町の課題も認識した上で、どんな町でありたいか？を可視化していく必要性。

区、町会等と日テレの共同開催イベントオフィステナント利用者の動線

交通のあり方、LRTなど時代にあわせた交通道路のあり方をギロンしてほしい

スケジュール等の具体的見通し

日テレ通りぞいのビジョン。もう少し具体的に！！早く進めるためには…。

(1) エリア・マネジメントをどういう体制で、どのように進めていくのかを取り上げてほしい

(2) 高層ビル賛成派も反対派も感情論で議論せず、データをもとに議論すべきだと思う。今回のファシリテーターやコメントーターの先生たちは、データや事実（Fact）に関する議論がなく、住民としては納得感に薄い。今後のシンポジウムには、データを都市計画に活かすことで世界的に著名な吉村有司先生（東京大学先端科学技術研究センター特任准教授；MITやバルセロナで多くの実証研究）などにも入ってもらったらどうだろうか。

データを都市計画に活かしたことで世界的に有名になった都市、バルセロナには、東京都

の宮坂副知事も訪問。ネットに訪問記をあげている。

<https://note.com/mmiya/n/n8dcbc96659b9>

- ・決まったこと、附帯決議、エリマネ棟など基本的なこと。冒頭で知らない、と答えた人は数人だったが、本当にわかっている人はいない感じがした。

1. 日テレ通り番町バス停周辺など渋滞発生地点、交通事故が多発していた周辺生活通りの車両交通量や麹町駅の通勤時間帯ピーク時の乗降客数を、容積率・就業者数との関係で、見通し、容積率の上限からのゆとりを検討する方法の具体化（建物の計画が具体化する前に実施できる方法）

2. 交通量やビル風の事前検証を、「現行のルールに従って、」ではなく、住民の体感に即した感覚で、実施する方法の具体化（現行ルールの方法で行った結果、許容範囲との判断で建てられたビルのビル風被害が発生していることを直視して、また、気候変動に起因すると思われる異常気象が異常とは呼べない頻度で発生していることも視野にいれ、現行ルールの方法ではなく、住民感覚に即した現実的な事前検証方法を設定する必要があり、その具体化を検討して欲しい）。

3. 附帯決議の千代田区当局が実施を要請されている事項の以下の（2）と（3）の進め方：

（2）地区計画の決定事項である高さや容積率はそれぞれの上限を定めたものであり、事業者が地区の要望を受け止めて上限に対してゆとりを持った計画内容とすることを妨げるものではないので、今後の建築物の設計段階においてその可能性について事業者と十分に協議すること。また、計画されている公共的施設の在り方を含め、様々な観点から質の高い計画になるよう十分に協議すること。

（3）地区計画によって確保された地区施設の管理運用のあり方については千代田区と事業者との協定によりその骨格が定められることとなるが、関係者の納得が得られるよう真摯な努力をし、当該協定（協定に基づく取り決めを含む）の決定、変更の手続きに遺漏がないよう慎重に進めるこ。

Q8	地域をよりよくしていくため、多様なメンバーと意見交換を行う場が番町地域に必要と感じましたか。 1：とてもそう思う 2：そう思う 3：あまり思わない 4：全く思わない ⇒そのように感じた理由
1	これまで、あまりにもこういう観点が不足していたから
1	私にはいくつかの会に出席して申し上げたことがあります。もともと番町というよいイメージはありますが、もっと広く統一感を持った地域にしていくよう考えていく場が欲しいと思います

1	マンション住民が9割と言われているこの地域では隣のマンションの住民の顔もわからない
1	地元民で発言される云々から、数多く心配内容が示された。
1	これ迄、根本的にこれが欠如していたから
1	この様な機会が少ないので、地域コミュニケーションが深まった。良かった。
1	区に対して質問させていただいたが、現状について「初耳」というご回答もあったので、相互に実情をふまえて議論すべきと思います。
1	反対意見をたくさん聞いたが、私はそうは思わないとthoughtたので。
1	マイナス意見の多さにびっくりしています。色々な人と話し合う事の大切さを感じました。
2	こうしたシンポジウムであるといろいろな意見があることが分かり有意義かと思いました。
2	過度にならずほどほどに
2	このような場に来て反論というか反対する人の大半が、地域コミュニティ活動に参加、関わっていないように見えた。
2	福祉事業者、教育者等からの意見を伺う
2	色々な意見を聞きたい
2	マンション住民であっても、地域とのつながりが必要。しかしそれには、必ずしも、物理的な広場などを必要としない。ネット上で、地域住民が自由に書き込むことができる「ヴァーチャル広場」を区として設けることもできると思う。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なメンバーが、恣意的な偏りを作られることなく、意見交換を行う場は、あってよいが、物理的な場（専用の建物など）を設ける必要はなく、ネット上のバーチャル環境でも差し支えない。 ・「コスト次第である。」或いは、「資金や費用の面のみならず、その他のあらゆる観点で、同時に発生する可能性のある不都合な事象とのプロス・コンス次第である。」 ・この質問に「はい。」と回答すると、「エリマネ棟が必要と考える人」にカウントされ、エリマネ棟を使用することが決定される根拠のように使われることにならないかという懸念を持った。（超高層ビルを建ててビル数の吹く日陰の空地ができ、交通渋滞や交通事故が増える可能性もあることにはまったく言及せず「二番町に広場があるとよいと思いますか？」と質問し、「はい。」と答えた人は、（超高層ビル建設を建てても、心配事が発生することは度外視して、）2500㎡の広場を設けることに賛成している人が多いことの根拠とされてきた経緯が想起される。） ・特定の目的を持った人（開発行為などに利害関係を持つ人など）の恣意的な誘導により、広範な住民の意見であるように纏められることを防止する仕組みを設けられないこと、広範な住民の参加にはつながらない。

3	反対に固執している人の意見を聞いても前に進まないから
3	いわゆる反対派が人の時間を気にすることなく発言をするのはいかがと思う。
3	・とても微妙に感じる。特に公的なものは恣意的な方向に誘導される懸念がある。日テレ計画が、もともと意見交換会のようなところで「盆踊りができるといい」→「広場があるといい」と勝手に流れが作られたようなことになりかねない。

Q9	<p>Q8で「とてもそう思う」・「そう思う」とお答えした方にお伺いします。 意見交換の方法について、ご意見があればお教えください。</p> <p>町会行事（新年会、祭り）への参加をうながす</p> <p>このスタイルは良かったと思います。日テレ・区と直接対話でき専門家の交通整理があるカタチ</p> <p>定期的な話し合い</p> <p>内容はとても良く、参加者も多かったが、それでも参加者は住民等の一部に限られている。周知の方法や結果の報告の方法の工夫、議論の様子を録画する・中継するなどにより、より多くの人がこのシンポジウムの内容を知るようになることが必要。意見交換の方法については良いと思った。</p> <p>本人が目の前で話す態度などから判断できるのは貴重な機会でした。</p> <p>マイ克の音こもっていて聞き取れなかった。</p> <p>日テレから早めに、具体的な計画の情報公開をするのが良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト推進側の都合に合わせた設営は駄目 ・住民が対等な立場で意見交換可能なシステムにすべき <p>説明会など</p> <p>この場は反対している人の場ですね。意見集約の仕方も様々ありますが、自分の考えを主張したい人には今日が最適。</p> <p>地元民との徹底的な対話</p> <p>同じ人ばかりが話して他に意見がある人が言う時間がなくなってしまった。</p> <p>今回の形が良いと思います。</p> <p>お茶会</p> <p>今日の様な会を重ねることが大事かと。</p> <p>こういう場にはりきって意見する人がいたよっているので、うまく回せればもっと有意義になりそう</p> <p>この様な場では意見する人にかたよりがあるので、ネットなど地域のイベントでのアンケートを！！</p> <p>今回のようなシンポジウム含めたイベント開催</p> <p>広場で祭りをすれば、地域住民の交流や意見交換の場になるというのは「昭和の世代」の感覚だと思う。まずはネット空間に掲示板を用意し、区民ができるだけ自由に意見を論じ</p>
----	--

答える場所を提供してはどうだろう。AIにより、特定の意見が集中するのを緩和し、極端な意見を控えさえることも最近では可能になっている。

Q10	今回のシンポジウムを踏まえ、改めて思い描く番町地域の将来像などがあればお教えください。
	良質な住環境、教育環境の維持を第一義に考えていただきたいです。
	住民の転入転出が少ない地域。住民の顔がわかる地域。
	ヨーロッパの町のように、町の色味や道路や緑化もトータルに考えられたら素敵だと思います。また道路、特に狭い道路は歩行者を最優先にするよう工夫できないかと思います。
	エリマネの活動があることでコミュニティの健全性や災害時の対応力が増す未来
	静かな街
	自分のことだけ考えるのではなく、地域のみなさんがよくなると思える地域として欲しいです。
	日テレだからこそできる開発になると思います。ぜひ実現につなげていただきたいです
	二番町に作られる広場にエリアマネジメントが導入されると了解するが、エリアマネジメントがイベント主催者に墮す事を危惧する。「閑静な住宅街、文教地区」標榜する番町にイベント広場は希望しない。樹がありベンチがある土又は芝生の広場があれば充分である。子供は土の広場があれば自分で遊びを発明する。マルシェは不要。
	歴史ある文教地区を守っていきたいです。
	H=80mの高層ビルが本当に必要か、疑問が大きくなつた。(H=60mでもいいのでは)
	・番町の歴史・伝統に重点を置いた地区計画を尊重すべき。 ・景観環境を更に重視すべきで、①電柱の地中化の推進、②建物（マンション）の高さ制限の理由無き緩和の見直し。
	地域の住民の方々の話が聞けたのは大変良い機会に成った。
	番町の良さと複合ビルの賑わいが融合して新しいエリアにしていく。
	地域がゆるくつながり、万一の時も互いに顔がわかる事で安心して協力し、乗り越えてゆける温かな関係が築ける町。
	現在の落着いた街並、静けさを守って発展して下さい。日テレ通りだけが繁華街となり奥の住宅は大丈夫。総合設計制度では、この建物は建たないかも
	古いままでなく新しい事も取り入れて住みやすい場にして行きたい。行けたらいいと思います。
	番町エリアのブランド力を高める形を追求していただきたいです。
	今よりも活気のある街づくりをきたいする。
	日テレ建設計画賛成ですが、スピーディーな建設を望みます。
	品格のある、比類のない住環境

福島県双葉町の入り口には「原子力 明るい未来のエネルギー」の看板が立っていた（2015年12月21日に撤去）。高層ビルによって明るい将来像は得られるのか。それとも双葉町のように、「思い描いていた未来」と「実際に起きた現実」が著しく乖離してしまうのか。我々に求められるのは未来を見渡す想像力だと思う。

- ・ 日テレが中心の街になるのはおかしい。長い年月をかけて培われてきた雰囲気、文化、住む人の知性、品位などが、収益性、採算性を求めざるを得ない企業に変えられてしまうのは本当に避けたい。
- ・ 旧日テレビルが建つより前に、文化人知識人が愛してきた、文教（的）地区だった。これを守れるかどうかで将来像が変わるが、平凡な住居オフィス店舗混合地域になりかねない転換点にある。

○交通至便な住宅地・文教地区で、夜間・週末は静謐な状態に戻る（通りに面した商業地区では商店・飲食店・業務用施設（オフィス等）が商売・ビジネスを営んでいる）

○狭い道路（車道）の幅（容量）の範囲に収まる昼間人口数を超えて就業者や訪問者が増加することはないようにマネージされている

○番町に閉じこもらず、隣接地域・徒歩圏内に存在する資源とバス・地下鉄・JRなどの交通利便性を活用し、番町から周辺まで視野に入れて豊かに暮らしている

例：①日常の買い物（番町内のスーパー、ドラッグストア、に加えて、外濠通りを跨いだ新宿区側、靖国通りを跨いだ九段の徒歩で行ける大型スーパーなど）、②ショッピングやダイニングなど飲食（徒歩でもいける神楽坂・神保町・四谷三丁目・赤坂、地下鉄・電車・バスで便利に移動できる銀座・日本橋・新宿・渋谷・池袋などの地下鉄・JRなどの百貨店などショッピングエリアや飲食店街）、②緑を楽しむ公園散歩等（徒歩や自転車ですぐに行ける、外濠公園、真田堀土手、清水谷公園、北の丸公園、千鳥ヶ淵公園・緑道、日比谷公園、靖国神社、日枝神社、など）、③観劇・映画・美術鑑賞など（徒歩又は自転車、バス・地下鉄などで乗り換えもなくゆける国立劇場、国立近代美術館、歌舞伎座、日比谷シネマ街、東京芸術劇場などなど）。

※申込みの際に同意いただいた「番町次世代シンポジウムの進め方に関するルール」に反すると判断した回答については掲載しておりません。